

第21回オンコロジーセミナー プログラム

主要テーマ：がん標準化学療法の最前線と地域包括ケアとの融合

－新薬導入による標準的化学療法の進歩、実臨床での治療選択、地域連携への最前線

日時：2016年10月29日 土曜日 9時30分～16時40分

会場：飯田橋レインボービル7階「大会議室」（JR飯田橋駅 西口から徒歩6分）

TEL：03-3260-4791 FAX：03-3267-8419

主催：NPO法人 がん医療研修機構

参加費：会員4,000円 非会員7,000円

- 日本緩和医療学会、日本薬剤師研修センター、日本医療薬学会による単位が交付され、専門看護師、認定看護師の更新ポイントになります。（予定）

<敬称略>

9:00～	(分)	受付開始	
9:30～9:35	(5)	開会の挨拶	谷川原祐介（がん医療研修機構）
9:35～10:35	(60)	I 特別セミナー「がん標準化学療法の最前線」 ①多発性骨髄腫における標準治療と外来管理 ～2018年にむけて～ 共催：セルジーン株式会社	座長：岡元るみ子（がん医療研修機構） 演者：鈴木憲史（日本赤十字社医療センター 骨髄腫アミロイドーシスセンター）
10:35～10:45	(10)	休憩	
10:45～11:45	(60)	I 特別セミナー「がん標準化学療法の最前線」 ②大腸がんの標準化学療法（仮） 共催：大鵬薬品工業株式会社	座長：相羽恵介（がん医療研修機構） 演者：濱口哲弥（国立がん研究センター中央 病院 消化管内科）
11:45～12:00	(15)	休憩	
12:00～13:00	(60)	II ランチョンセミナー 「進行胃がんに対する化学療法の進歩と支持療法の 重要性」 共催：日本イーライリリー株式会社	座長：五月女隆（国保松戸市立病院 化学療 法内科） 演者：坂東英明（国立がん研究センター東病 院 消化管内科）
13:00～13:15	(15)	休憩	
13:15～15:55	(150 + 休憩 10)	III パネルディスカッション 「地域医療機関で行われている化学療法の実際 －地域で行われている積極的治療の実際と課題」 ①地域でのがん化学療法について ②門前薬局での経口内服薬に対する服薬指導 ③がん患者の歯科治療～地域の歯科医への研修 ④外来がん化学療法を行っている患者への訪問看護 ⑤急性期医療から地域への連携（①～⑤各20分） <休憩10分> ⑥総合討論（50分）	座長：三浦里織（がん医療研修機構） 演者： ①清水公一（新板橋クリニック） ②井上 登（文京区薬剤師会） ③上野尚雄（国立がん研究センター中央 病院歯科） ④本田晶子（訪問看護パリアン、がん看護 専門看護師） ⑤熊倉佐代子（東京都保健医療公社 大久 保病院、がん化学療法看護認定看護師）
15:55～16:05	(10)	休憩	
16:05～16:35	(30)	IV 教育セミナー 「アピアランスケア」	座長：調整中（がん医療研修機構） 演者：藤間勝子（国立がん研究センター中央 病院アピアランス支援センター）
16:35～16:40	(5)	閉会の挨拶	渡邊眞理（がん医療研修機構）

主催：NPO法人 がん医療研修機構 <http://www.oncom.jp/>

後援（予定）：日本医師会、日本癌学会、日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、東京都病院薬剤師会、
日本薬剤師会、日本薬学会、日本医療薬学会、日本がん看護学会、日本緩和医療学会、
日本診療放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会